

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター

2009 年度事業計画書

期間: 2009 年 7 月 1 日 ~ 2010 年 6 月 30 日

Reborn, 支援から共創へ



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎ NPO センター

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター
2009 年度事業計画書

目次

I . 2009 年度事業計画の重点テーマ	2
II . 2009 年度事業計画	4
III . センターの運営に関する事項	12
IV . 2009 年度収支予算	13

I. 2009 年度事業計画の重点テーマ

昨年度には、団体設立12年目、市民活動支援施設の管理・運営に携わり10年目という節目を迎えた当センターは、そこで蓄積したノウハウを生かして、より深い市民公益活動支援と共に、自治体改革支援についても積極的な取り組みを今後も実施していくことをめざしたい。さらには、現在関わっている4施設の運営と組織本体の自主事業を担う事務局との連携にも今まで以上に力を注ぎ、効果的な事業展開を図りたい。また、企業・団体との関係作りについても、企業・団体関係者との協働でつくる新たな取り組みなどを通して、これまで以上の成果を生み出したいと考えている。評議員会の席で何度も皆様から提案されている地域と組織の人材育成体制構築についても、NPO におけるインターンシップの推進など、大学や企業・団体などと連携して取り組んでいくことを検討したい。以上のような方向性を持って、以下の4つの柱を掲げて今年度の活動を展開したい。

1. 地域づくり支援+協働政策支援=自治体改革支援

(仙台市、多賀城市、名取市、岩沼市、塩釜市)

市民公益活動支援は、当初市民活動/NPO といった公益的かつ草の根的な市民活動の支援を中心に、99年から仙台市の施設運営・管理業務を受託してきたが、その後、2007年には仙台市のシニア活動支援センターを受託、翌年2008年には多賀城市市民活動サポートセンターを、2009年4月より、以前から相談業務を担っていた名取市市民活動支援センターも毎週4日間スタッフが勤務し、支援するという形に変わった。このようなことから、狭い意味での市民活動支援から、対象を絞り込んだシニア世代(個人・団体)とNPOや各機関をつなぐ支援や、多賀城市などでは支援対象が町内会や生涯学習団体にまでも拡大した支援を行うこととなっている。これらは、地域(コミュニティ)支援という当センターの中長期的な事業方針にもあり、このような取り組みを通して市民参画・協働型の自治体経営を目指す自治体改革支援を、仙台市にとどまらず、周辺自治体へと展開していく。

2. 4つの施設の効果的運営と大町事務局との連携

今年度は、仙台市の市民活動サポートセンターの指定管理最終年度であり、次年度のサポートセンター指定管理者の公募が行われる年でもある。その他の施設の管理・運営とあわせて、当センターでは、行政施設の運営と自主事業として取り組んでいる本体事業のより効果的な連携を強化して行きたい。各々の施設の特性や利用者にあわせたサービスの開発と同時に、より積極的に市民のエンパワメントにつながるプログラムを展開できるように考えて行きたい。企業・団体との関係作りを構築しつつあるサポート資源提供システムやCSR推進相談所、協働事業の一つ東北ろうきんパートナーシップ制度、せんだい CARES などの本体事業とのコラボレーションを効果的に実施していきたいと考える。

3. サポート資源提供システム、せんだい CARES、CSR 推進相談所、ポータルサイト、情報ライブラリー等の企業・団体との連携に関する事業推進

先に述べているように、これまで企業・団体と NPO をつなぐ仕組みとして取り組んできたさまざまな取り組みをいま一度整理し、統合すべきは統合を図り、効率的で効果的な企業・団体との連携に取り組む。そのためには、これまであまり活用しきれなかったポータルサイトや NPO 情報ライブラリーなどの情報発信機能をより活用することも注力したい。また、HP などのリニューアルについても、本体と運営を任されている各公共施設とも連動したデザインや運用を試みることを検討したい。

4. 地域と組織の人材育成事業(インターンシップ、スタッフ育成、JACEVO)

毎年、何らかの形でインターンを受け入れている当センターは、今後も地元大学をはじめ、各方面からのインターンを積極的に受け入れていくが、このような体験を生かして、地域の NPO の人材育成にもつながる仕組み作りも検討していきたい。せんだい CARES では、大学生の NPO 体験レポーターという形で大学生と NPO が出会う機会を創出しているが、このタイプの大人向けプログラム(現役組・リタイア組)なども企業人との協力のもと、実施していきたい。また、スタッフの人材育成も内部研修と外部研修を含めて昨年同様に取り組む。ほかには、組織以外の NPO との連携により組織のリーダーの支援となる取り組みを JACEVO(日本サードセクター経営者協会・2009 年 9 月 1 日設立)と連携するなどして、地域に密着したネットワーク・研修・政策提案などを実施していきたい。

II. 2009 年度事業計画

①アドボカシー

NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会や社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク、会計基準づくりのネットワーク、日本サードセクター経営者協会などに参加し、政策提言に関わる。市民マニフェストに関するフォローアップや実施の検証について、他の NPO と協力しながらプラットフォームを作る。

②NPO マネジメントサポート

助成金相談会、経営相談会などの形で NPO のマネジメント支援を行っているが、今年は対象を絞り込んだマネジメント支援を自主事業として実施してみたい。また、IIHOE や日本サードセクター経営者協会などのプログラムと連携して、マネジメント支援を実践していく。

③交流・ネットワーク

プロペラトークス、らんち de MATCH、忘新年会などの出会いと連携の場の創出と、財団法人たんぼぼの家との共催で実施する「ケアする人のケアセミナー」への取り組みなどを予定している。

④情報発信・情報サポート

昨年手掛けることができなかった、せんだい・みやぎ NPO センター新パンフレットおよび HP リニューアルを実施する。

⑤市民公益活動支援施設運営 (別記 2~5 を参照)

⑥サポート資源提供システムとみんなファンド (別記 1 を参照)

昨年度と同様に、総額 1000 万円程度の支援を見込む。また、ポータル活用の活用、企業・団体のライブラリー登録 (CSR 企業・団体データベース) など、新しい方向性を検討する。

⑦せんだい CARES2009

今年 7 年目となるせんだい CARES は、コンセプトを大きく変更し、NPO 情報ライブラリーに登録している団体を中心とした、仙台圏内で活動する信頼に足る NPO の団体情報誌として編集する。

⑧コミュニティ政策支援

⑨企業のソーシャル化支援

3 回目となる CSR セミナーの開催方法を見直し、南東北 3 県の企業を対象にしたセミナーとしてリニューアルを図る。また、CSR 推進相談所の機能をあげるとともに施設管理をしている拠点との連携も積極的に行う。

⑩市民協働のまちづくり

⑪災害復興支援

昨年度から引き続き、宮城県内で栗駒・花山の被災地への復興支援の枠組みの構築と実践を行っていく。

⑫東北ソーシャルビジネス推進協議会

3 月に設立した東北ソーシャルビジネス推進協議会の運営に参加し、東北地方の全域でのソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの推進に力を尽くす。

⑬組織改革 (スタッフ研修)

内外の講師によるスタッフ研修を実施し、スタッフのスキルアップに努める。また、テーマによっては組織の外に開かれた研修なども行う。

⑭日本サードセクター経営者協会 (JACEVO)

9 月 1 日に設立総会を東京で開催。9 月 5 日には、仙台で、当センターの総会記念セミナーとして、英国の

サポートセンターは1999年6月30日の開館から、今年の6月で10周年を迎えた。10周年にあたる今年度は、10周年記念事業を通じて、これまでの仙台の市民活動、また市民活動の拠点施設としての役割公共的な市民活動支援施設の先駆けとして担ってきた機能やサービスを総括するとともに、その存在価値を問い直すとともに、新たな10年に向けた機能やサービスの再構築を行う必要がある。

また、仙台市シニア活動支援センター、昨年度開館した多賀城市市民活動サポートセンターとの連携を強化し、裾野を広げながらより市民ニーズに即したサービスの提供に努め、効率的な運営を行っていく。

□施設概要:

仙台市青葉区一番町 4-1-3

電話:022-212-3010 FAX:022-268-4042

開館時間:

平日・土曜日 午前9時～午後10時 日曜日・祝日 午前9時～午後6時

休館日:毎月最終水曜日および年末年始(12/29～1/3)

□職員体制(2009年7月1日現在):

常勤職員8名、非常勤職員5名

(センター長1名、副センター長2名)

*各業務に応じて、当センター事務局スタッフの助言および連携を図りながら推進していく。

□業務の範囲及び具体的内容:

施設管理業務、情報収集提供業務、相談業務、連絡調整業務

各事業の実施(人材育成事業、ネットワーク推進事業、市民公益活動への誘導・啓発事業、その他センターの機能を充足させるために必要な事業、調査事業)

資料の購入、施設及び設備の使用料徴収業務、その他図書委託業務販売業務等

1. 人材育成事業

活動の担い手としての個人と市民団体を育成・支援するために、段階に応じた講座を開催する。

①NPOいろは塾(年8回)

②NPO立ち上げいろは塾(新規事業・年2回)

組織として活動をするための基礎的な講座を実施し、NPOの立ち上げを支援する。

③NPOステップアップ講座(年3回)

④インキュベート相談(年2回)

事務用ブース入居団体を対象に、個別に相談会を開催し、より効果的な団体活動と事務所運営の確立に役立てる。

2. 市民公益活動への誘導・啓発事業の推進

一般市民、地域に対し、市民公益活動への誘導・啓発を図る。

①出前サポセン(年5回)

市民センターやボランティアセンター、市内の施設などとの連携により、仙台市の各区で、市民活動の理解と活動促進につなげる情報提供や相談、交流の場を設け、地域に根ざした市民公益活動の促進を図る。

3. ネットワークの推進

行政、企業、市民団体、地縁団体の連携強化を図る。

①サポセン大感謝祭(11/29)

市民活動をテーマにイベントや交流会を開催し、団体同士の交流や連携を促進する。

②協働セミナーの開催(年1回)

③町内会とNPOの連携推進「コミュニティ情報(協働事例)の収集」

④CSR情報収集

4. 10周年記念事業

開館10周年記念事業に取り組む中で、仙台市の市民公益活動の支援と協働推進を図る。

①10周年記念シンポジウム(7/4)

②市民活動シアターパネルディスカッション(年1回)

③10周年記念誌発行

5. 市民活動シアター活性化事業(年6回)

市民の文化芸術活動や市民公益活動支援のため、シアターで実施する催事企画を広く公募し、シアターの周知と利用促進を図る。

別記3 仙台市シニア活動支援センターの管理・運営受託(2009年4月1日～2010年3月31日)

□施設概要:

仙台市青葉区一番町4丁目-1-3 仙台市市民活動サポートセンター3階

電話:022-217-3983 FAX:022-217-3984

開業時間:

平日・土曜日 午前10時～午後8時 日曜日・祝日 午前10時～午後6時

休業日:毎週水曜日および年末年始(12/29～1/3)

□職員体制(2009年7月1日現在):

常勤職員2名、非常勤職員1名

(センター長1名、副センター長1名)

□業務の範囲および具体的内容:

シニア活動の相談業務、シニア活動に関する情報の収集と提供、シニア活動に関するネットワークづくり、関係機関及び団体との連絡調整、シニア活動の支援事業の実施など(具体的内容は下記 1~6 参照)

1. 段階に応じた 3 種類の相談の対応

①一般相談

センタースタッフが、窓口・電話で対応。予約なしで相談可。

②セカンドライフ相談

テーマを定めず、セカンドライフの相談に専門相談員が幅広く対応。

毎月第 4 木曜日開催。予約制

③専門相談

テーマ別の個別相談。毎月第 2 土曜日開催。予約制

2. サロン・講座等の開催

①サロン

活動の実践と仲間づくりにつながる学び・交流の場として、年に 4 回開催する。

②起業講座

起業、開業を目指す方のための講座および個別相談会を実施する。

3. 企業担当者向け説明会と社員向けライフプランセミナーの実施

定年退職を控えた方に、在職中にセカンドライフについての情報収集や具体的なプランを考えてもらうこと、また仙台市内の企業との連携を強化することを目的に、説明会および社員向けライフプランセミナーを開催する。

4. ネットワーク推進のための事業の実施

①推進ネットワークの整備

仙台市内のシニア活動支援機関及び実践団体間との連絡協議の場を設け、相互の効果的な連携協力を進め、シニア活動支援センター業務の成果向上を図る。

②新年会

推進ネットワークや関連機関、利用者などを対象に、センターの事業内容や成果の発表および交流の機会を設ける。

5. 情報収集及び提供

①情報・交流コーナー

シニア活動支援センターの情報・交流コーナーに、シニアの活動に取り組むにあたって、もしくは実際の活動上参考になる各種情報を特化的に収集・提供する。

②機関紙「まだ＊これ」発行

市民活動などで活躍中の団塊・シニア世代のインタビュー記事、センターの催事情報、関係機関・団体情報、書籍紹介などを機関紙にまとめ、隔月発行して広く情報発信する。

③ホームページ

仙台市ホームページにシニア活動に関する情報を掲載し、適時管理・更新して、広く情報発信する。

別記 4 多賀城市市民活動サポートセンターの管理・運営受託(2009年4月1日～2010年3月31日)

多賀城市が設置した多賀城市市民活動サポートセンターの管理・運営業務を受託し、2年目を迎えた。昨年度の利用傾向と地域状況の分析をもとに、重点となるテーマを定め、以下の事業を展開していく。

□施設概要:

多賀城市中央 2-25-3

電話:022-368-7745 FAX:022-309-3706

開館時間:

平日・土曜日 午前9時～午後9時30分 日曜日・祝日 午前9時～午後5時
休館日:毎週水曜日(水曜日が祝日の場合はその翌日)および年末年始(12/28～1/4)

□職員体制(2009年8月1日現在):

常勤職員8名(うち1名は仙台市市民活動サポートセンターと兼務)、非常勤職員6名
(センター長1名、副センター長1名)

□業務の範囲:

窓口業務・情報収集・発信業務・相談業務・資料購入
施設および設備使用料徴収業務・図書委託販売業務

□平成21年度の重点テーマ:

- (1) 市民活動団体へのソフト支援を強化すること。中でも、組織運営(マネジメント)に係るスキルアップと、立ち上げ支援に重点を置くこと。
- (2) NPO・地縁組織・生涯学習団体の3者による連携と協働を促進する。
- (3) 現役層(20代～40代)市民の、市民活動への誘導・啓発を進めること。
- (4) 2市3町・仙台市東部を含む仙塩広域圏からの市民活動団体の利用を促進すること。

□事業の具体的内容

1. 人材育成事業

①『NPO いちから塾』(09年5月～10年2月まで隔月全5回開催)

NPOの新たな担い手を育成することを目的とし、地域課題の解決にむけた市民活動の初歩を、テーマごとにわかりやすく伝える。

②『NPO マネジメント講座』(09年8・10・11月全3回開催)

NPOの組織運営の現場で役立つ実践的なマネジメント手法「広報」「組織形成」「合意形成」の基礎を学ぶ機会とする。受講者はNPOに限らず、地縁組織関係者等も幅広く含む。

2. 事務用ブース・インキュベート支援事業

市民活動共同事務室の入居団体を対象として、それらの団体が入居期間内に自立して活動を展開できるように、交流会・個別面談等の支援プログラムを提供する。

3. 市民公益活動への誘導・啓発事業

『サポセン広場～たがサポ出前プロジェクト』(09年8月～10年2月に全6回開催を予定)

多賀城市市民活動サポートセンターの機能を多賀城市内公共施設やイベント会場に「出前」し、市民活動を地域住民により身近に感じてもらいながら理解を深め、参加を促す機会とする。本年度は地区集会所単位での開催も実現する。

4. ネットワーク形成事業

『たがサポ開館1周年記念イベント!』(09年6月に実施済)

本施設の開館1周年記念とし、NPO・地縁組織等の関係者の交流を深めつつ、すでに活躍しているNPOからリーダーを複数ゲストとしてお招きし、市民活動のパワーと可能性を多賀城市内の地域づくり関係者に紹介する機会とする。

5. センターの機能を充実させる事業

『地元企業CSR調査事業』(9月～10月頃実施予定)

多賀城市を中心とした2市3町の企業を対象に、地域貢献の現状と、地域活動への参画の状況等について調査し、10年1月に報告会を開催する。

6. 市職員研修事業

『管理・監督者研修』『市職員NPOいちから塾』(5・6月実施済)

多賀城市役所管理・監督者を対象に、官民協働における理解の促進と現場レベルでの推進を目的とした研修を設けるとともに、NPOについての基礎知識を学ぶ機会を提供する。

別記 5 名取市市民活動支援センターの一部運営受託(2009年4月1日～2010年3月31日)

□施設概要:

名取市大手町 5-6-1

電話:022-382-0829 FAX:022-382-0841

開館時間:

月～土曜日(火曜日を除く) 午前9時30分～午後9時30分

日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時30分

休館日:毎週火曜日および年末年始(12/29～1/3)

□業務の具体的内容

1. 窓口受付ならびに相談対応業務

毎週月・水・木・金 午前10時～午後6時

相談業務対応者:4名

2. 情報収集と発信業務

①NPOの情報発信支援(チラシ配架、団体情報ファイル作成など)

②NPOのための情報収集提供(助成金・支援センター・公民館や名取市内施設情報など)

③新聞記事のファイリング

④名取市市民活動支援センタースタッフブログの開設

3. 名取市市民活動支援センター通信の発行

A4表裏2面の通信を作成、発行(隔月刊)

名取市、または近郊で活動する団体の紹介やイベント紹介、当センターのイベント紹介などを掲載する。

4. 講座・交流イベントの開催

NPOの基礎を伝えるミニ講座の開催

利用団体と市民などの交流イベントの開催

Ⅲ. センターの運営に関する事項

1. 通常総会の開催

第11回通常総会の開催

日時:2009年9月5日(土)13:30~15:30

会場:仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

総会終了後、JACEVO 発足記念講演の開催

会場:同上

講師:スティーブン・バブ氏(英国 ACEVO)

2. 理事会の開催

毎月1回理事会を開催する。

3. 評議員会の開催

年2回、評議員会を開催する

・第18回 2009年10月6日(火)

・第19回 2010年4月

4. 事務局体制について

スタッフの力量向上による一層の事務局体制の強化を図る。

インターンシップ、研修生、ボランティア、研究員などの多様な主体による参画型の事業体制の構築をより一層進める。

会議の設定

- ・戦略会議の開催
- ・センター会議の開催
- ・目標管理会議の開催

研修機会の活用

- ・内部自主研修
- ・外部研修 等

IV. 2009年度収支予算

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
2009年度（2009年7月1日～2010年6月30日）

2009年度 予算書

1) 収入の部 (単位：円)

科 目	2008年度決算	2009年度予算
1 会費収入	1,405,000	1,600,000
2 事業収入	23,076,149	18,250,000
委託事業	(8,359,748)	(9,000,000)
参加費	(423,500)	(200,000)
書籍売上	(955,593)	(1,500,000)
相談・ヒアリング収入	(567,500)	(300,000)
講師派遣	(12,537,968)	(7,000,000)
販売手数料	(840)	0
原稿料	(231,000)	(250,000)
3 仙台市市民活動サポートセンター管理運営事業	58,629,489	61,535,000
4 仙台市シニア活動支援センター管理運営事業	12,838,000	12,593,000
5 多賀城市市民活動サポートセンター管理運営事業	28,774,200	34,950,000
6 名取市市民活動支援センター運営事業	1,015,000	6,090,000
7 寄付金収入	1,937,785	1,000,000
8 雑収入	1,473,507	500,000
9 特別事業：サポート資源提供システム	1,393,128	2,250,000
当期収入小計	130,542,258	138,768,000
10 前期繰越収支差額	14,095,460	19,157,604
収入合計	144,637,718	157,925,604

※ 預り金は予算には計上いたしません。

2) 支出の部

科 目	2008年度決算	2009年度予算
1 仕入	316,037	500,000
2 人件費	8,440,147	8,150,000
3 旅費交通費	4,245,163	4,000,000
4 福利厚生費	1,029,926	1,070,000
5 物件費	1,282,306	1,600,000
6 外注費	663,060	400,000
7 事務費	2,183,464	2,160,000
8 賃貸費	2,840,756	2,870,000
9 会議費	937,520	800,000
10 研修費	4,612,702	4,530,000
11 支払会費	140,000	140,000
12 事業費・協力金	318,500	0
13 雑費	3,854,065	5,067,950
14 仙台市市民活動サポートセンター管理運営事業	55,291,359	64,873,130
15 仙台市シニア活動支援センター管理運営事業	11,836,252	13,954,748
16 多賀城市市民活動サポートセンター管理運営事業	26,703,208	37,020,992
17 名取市市民活動支援センター運営事業	566,216	6,538,784
18 特別事業：サポート資源提供システム	219,433	580,000
19 予備費	0	3,670,000
支出合計	125,480,114	157,925,604

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPO センター

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2-6-27 岡元ビル 4F

TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209

URL <http://www.minmin.org> E-mail minmin@minmin.org



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター